

1 単元名 1けたでわるわり算の筆算 A(3)

2 単元の見込み

- ・わり算の筆算や暗算のよさに気付き、進んで具体的な問題の解決に活用しようとする。【関心・意欲・態度】
- ・(2、3位数)÷(1位数)の計算の仕方を考え、説明することができる。【数学的な考え方】
- ・(2、3位数)÷(1位数)の筆算や(2位数)÷(1位数)の暗算ができる。【技能】
- ・(被除数)＝(除数)×(商)＋(余り)の関係をまとめ、答えの確かめに用いることができる。【知識・理解】

3 単元計画(全11時間)

次	時	主な学習活動	協同的探究学習場面における ○ 指導内容 ● 留意点
		☆ 協同的探究学習	
一	1	☆ 48÷3の計算の仕方を、既習事項をもとに、いろいろな方法を考える。	○ 48÷3の計算の仕方を、既習事項をもとに、図や式、言葉を用いて考えることができる。 ● 48を九九が使える範囲に分けて、解法が見つけられるようにする。
二	2 3 4 5 6	120÷3、600÷3などの計算の仕方を理解する。 72÷3の計算の仕方を理解する。 余りのあるわり算の筆算の仕方を理解する。 答えの確かめ方を理解する。 桁ごとにわり切れる場合の筆算と、一の位に0が立つ場合の筆算の仕方を理解する。 練習問題を解き、学習内容の定着を図る。	
三	7	☆ 商が3桁になる筆算の仕方を、既習事項をもとに発展的に考える。	○ 計算の仕方を、既習事項をもとに、図や式、筆算を用いて考えることができる。 ● (2位数)÷(1位数)の計算の仕方を使って、桁が増えても筆算ができるようにする。
四	8 9	商が2桁になる筆算の仕方を考える。 練習問題を解き、学習内容の定着を図る。	
五	10	☆ 45÷3の簡単な計算を、暗算でする。	○ 45÷3の暗算の仕方を、図や式、言葉を使って説明することができる。 ● 暗算も筆算と同じように、上の位から計算していくことを生かして、自分なりのやり方で解法を見付けられるようにする。
六	11	確認問題を解き、学習内容の定着と習熟を図る。	

4 指導上の立場

○ 単元観

第3学年で、わり算についての意味理解、乗法九九を1回適用して商を求める計算を学習している。そこで本単元ではまず、既習の除法の計算をもとに、48÷3という九九1回適用をこえた場合の計算の仕方を考えていく。その後、筆算形式を導入し、商が2、3位数になる計算を発展的に考えさせながら、整数の除法について理解を深めていく。

○ 児童観

前学年までの復習では、九九がすらすら出てこなかったり、わり算について、苦手意識をもっていたりする児童が数名見られた。

除法の計算は、加法、減法、乗法に比べて手続きが複雑で、どの位から商が立つのか悩んでしまうところがある。また、上の位から計算するというように、既習の計算手順とは異なる点があるので、困惑する児童も多いことが予想される。

○ 指導観

本単元では、第1次第1時、第3次第7時、第4次第10時において、協同的探究学習を取り入れる。第1次では、児童自身の生活と関連付けやすい場面を設定し、等しく分ける方法について既習事項を用いれば解けることに気付かせる。第3次では、商が2桁になる筆算の計算の仕方をもとに、発展的に考えれば商が大きくなっても解けることに、第4次では、簡単なわり算は筆算と同じように上の位から計算していけば暗算でできることに気付かせたい。

5 本時案(第1次 第1時)

(1) 本時の目標 (わかる学力)

48 ÷ 3 の計算の仕方を、既習事項をもとに、図や式、言葉を使って考え、説明することができる。

(2) 展開

学習活動	教師の指導・支援																												
<p>前提問題 18このチョコレートがあります。 3人で分けると、1人分は何ことになるでしょうか。</p>	<p>前提問題のポイント ・全員が理解できる前提問題を設定する。 ・学年が上がると具体からはなれる傾向にあるので、本当に6個ずつ分けられるか、タイルで確認する。 ・商は、九九の逆で求められることを意識付ける。</p>																												
<p>導入問題 48このチョコレートを3人で等しく分けます。 1人分は、何ことになるでしょうか。</p>	<p>導入問題のポイント ・具体的な場面設定と具体物の提示で、課題を把握しやすくする。 ・様々な方法で分解できる数値にし、全員が自分なりの解決法を見付けられるようにした。</p>																												
<p>個別探究 (ア) 1個ずつ3人で分けていく。 (イ) 九九の延長で3個ずつたしていく。 (ウ) 8の段は48があるので、8個ずつ分けてみる。 (エ) 10個ずつ分けるときりがいいので、10個ずつ分けてみる。</p>	<p>考えを引き出す工夫 個別探究前に、次の点を指示する。 ・図や式、言葉を使って、自分の考えを説明すること。 ・自分が何を表そうとしているのか、自分なりの表現方法で相手にとってわかりやすく示すようにすること。</p>																												
<p>協同探究</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>共通点 かたまりに分ける 九九を使う</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px auto; width: 80%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">1 ずつ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">3 ずつ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">8 ずつ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">10 ずつ</div> </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 25%;">○○○</td> <td style="width: 25%;">. . .</td> <td style="width: 25%;">8 × 6 = 48</td> <td style="width: 25%;">10 こずつ</td> </tr> <tr> <td>○○○</td> <td>3 × 9 = 27</td> <td>8 + 8 = 16</td> <td>くぼる。</td> </tr> <tr> <td>. . .</td> <td>3 × 10 = 30</td> <td></td> <td>10 × 3 = 30</td> </tr> <tr> <td>. . .</td> <td>3 × 11 = 33</td> <td></td> <td>のこり</td> </tr> <tr> <td>. . .</td> <td>. . .</td> <td></td> <td>48 - 30 = 18</td> </tr> <tr> <td>○○○</td> <td>. . .</td> <td></td> <td>18 ÷ 3 = 6</td> </tr> <tr> <td>161616</td> <td>3 × 16 = 48</td> <td></td> <td>10 + 6 = 16</td> </tr> </table>	○○○	. . .	8 × 6 = 48	10 こずつ	○○○	3 × 9 = 27	8 + 8 = 16	くぼる。	. . .	3 × 10 = 30		10 × 3 = 30	. . .	3 × 11 = 33		のこり		48 - 30 = 18	○○○	. . .		18 ÷ 3 = 6	161616	3 × 16 = 48		10 + 6 = 16	<p>発表 ・誰もが分かりやすい、1個ずつ3人に分ける方法から発表させた。最後に、10のかたまりに着目した考えを発表させ、かたまりに分けるよさに気付かせる。 ・友だちの考えを理解しやすくするために、同じタイルを使って考え方を共有する。</p> <p>関連付け ・まず、既習事項の九九を使って考える方法を関連付ける。 ・次に、○個ずつのかたまりに分けて考える方法を関連付ける。</p> <p>本質追究 ・4つの考えを関連付け、「九九の範囲でできる数に分けてたす」という考えを引き出す。</p>
○○○	. . .	8 × 6 = 48	10 こずつ																										
○○○	3 × 9 = 27	8 + 8 = 16	くぼる。																										
. . .	3 × 10 = 30		10 × 3 = 30																										
. . .	3 × 11 = 33		のこり																										
.		48 - 30 = 18																										
○○○	. . .		18 ÷ 3 = 6																										
161616	3 × 16 = 48		10 + 6 = 16																										
<p>展開問題 72このチョコレートを4人で等しく分けます。 1人分は、何ことになるでしょうか。</p>	<p>展開問題のポイント ・数値は大きくなったが、導入問題で出てきた友だちの考えのよさをいかすと解ける問題設定にした。</p>																												
<p>評価 A 規準 協同探究の成果を生かしながら、除法の答えを見付け、自分なりに説明できるやり方を見付けている。 B 規準 協同探究の成果を生かしながら、除法の答えを見付ける方法を考えている。</p>																													